

春のブックツアー

図書館では、毎年5月と11月に学生ブックツアーを行っています。ブックツアーとは、学生が図書館で所蔵してほしい本を書店で選ぶイベントで、春季は7名の学生選書委員が本を選びました。

選書した図書の一例をご紹介します！

- 『傾聴の極意』
- 『コンプレックス』
- 『入居者全滅事故物件』
- 『入社1年目の語彙カノート』
- 『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』
- 『ぼけますから、よろしくお願ひします。』
- 『風読みの彼女』



学生が作成したポップも必見です！



—企画展示—

原典コレクション展 -啓蒙期ヨーロッパの人文・社会科学の 原典に触れる-

図書館2階閲覧室では、令和7年度前期企画展示を開催中です。当館が所蔵する18世紀のスコットランド・イングランド啓蒙の関連書籍を中心に、普段公開していない貴重な資料を展示しています。



- 開催期間 2025年5月26日(月)～7月31日(木)
※見学時間 9:00～18:00(月～金)
9:00～16:00(土)
- 開催場所 千葉経済大学総合図書館2階閲覧室
- 開館日 図書館開館カレンダー
(<https://www.cku.ac.jp/lib/>)



先生が選んだおすすめの一冊

『物語の役割』 小川洋子著

(経営学科 板谷洋一郎 准教授)

学生の皆さん、最近物語を読んでいますか。今回ご紹介する本は、『物語の役割』（ちくまプリマー新書）です。著者は作家の小川洋子です。これは物語そのものではなく、物語が生まれる過程を少し覗き見させてくれる本です。

この本の特徴の一つは、小川が自らを例にして、物語ができる過程を説明している点です。彼女によると、物語の種は作家が自分で用意するというより、「前ぶれもなく、しかも非常に静かにやってくる」そうです。例えば、本屋大賞を受賞し、映画化もされた『博士の愛した数式』は、著者がたまたま見たテレビ番組で、数学者とは情緒豊かで、数学の真理に対して謙虚な人たちだと知ったことから着想を得たようです。

また、小説は言葉の織物ですが、小川が、創作する際、言葉ではなく、まずイメージや映像のようなものが浮かび上がってくると語っている点は面白いです。実際、小川は、先程の閃きに形を与えようと数学の本を読み漁っていたところ、「友愛数」と出会い、それがきっかけで、ある数学者とその家政婦が友愛数でつながる場面が自然と浮かんできたというエピソードを紹介しています。

他には、この本で小川は自らの短編を題材に、浮かんだイメージ・映像にどう「橋を渡す」のかを語り、加えて、『ファーブル昆虫記』、『トムは真夜中の庭で』、『アンネの日記』などからなる少女時代の読書がどう自己形成に役立ったかを率直に書いています。

この本をきっかけに、学生の皆さんが何か物語を手にとってくれれば幸いです。



学生が選んだおすすめの一冊



『自分とか、ないから。』

―教養としての東洋哲学― しんめいP 著

(経営学科 四年 松浦美結)

私が紹介する本は、しんめいPさんの『自分とか、ないから。』です。この本は、「東洋哲学」というあまり馴染みのない分野を、やさしい言葉で解説したエッセイです。「どう生きればいいのか」というテーマに焦点を当て、心が少し楽になるような考え方を教えてくれます。

仏教のブツダや老子、荘子、親鸞、空海など、東洋思想のキーパーソンが登場し、高校の倫理で学んだ内容ともつながっているため、哲学に苦手意識がある方でもとつきやすく感じられる一冊です。特に印象的だったのは、「本当の自分はない」「自分を苦しめるのは、自分」という幻想」といった、ブツダが六年の修行の末にたどり着いた視点です。他人と比べて落ち込みがちなとき、そっと背中を押してくれるような言葉に出会えます。

イラストも多く、一文一文が短いため、読書が得意でない方にもおすすです。知識を得るためではなく、今のしんどさをやわらげたいときに読みたくなる本です。

「自分って何だろう」と立ち止まりたくなったり、ぜひ静かにページをめくってみてください。

『コンプレックス』 クノタチホ 著

(経営学科 三年 深山琴佳)

私がオススメしたい本は、クノタチホの『コンプレックス』です。近年、SNSの普及により「見た目」への意識がより強くなり、若者の間でルッキズム(外見至上主義)が加速しています。ありのままの自分であることが難しく、「他人と比べてしまう」「自信が持てない」と悩む人も少なくありません。そんな現代を生きる私たちに、クノタチホ著『コンプレックス』は静かに寄り添ってくれます。

この本のあらすじは、容姿にコンプレックスを持つ女性たちが、ある不思議な鏡「ナルシスの鏡」を使うことで、誰もが振り向くような美しい姿になれるという物語です。しかし、その美しさは仮想現実であり、現実世界でのコンプレックスと向き合うこととなります。現実世界に戻り元の容姿で生活していくのか、それとも仮想現実の中で理想の容姿で生活していくのか、66日以内にその選択を決めなくてはならない、という内容です。

美しさの基準に振り回されず、自分らしく生きるヒントを見つけた人こそ手に取ってほしい一冊です。ルッキズムに息苦しさを感じているすべての人へ、優しく背中を押してくれる本です。



2025年新企画

読書王

図書館では今年から、年間の貸出数が多い学生を「読書王」として表彰します！これは皆さんの学習や学生生活の充実と、図書館利用を促進するために設けた企画です。ぜひ、図書館にある21万冊の蔵書を活用してください。

- 📖 申込：不要
- 📖 表彰対象：大学生・短大生 各上位5名
- 📖 期間：2025年4月1日～12月26日
- 📖 集計対象：図書・雑誌の貸出回数
(CDやDVD等の視聴覚資料・電子書籍を除く)



参考

去年の上位貸出数 (学生のみ)

- ★ 1位 **84** 冊 (大学3年生)
- ★ 2位 **57** 冊 (大学2年生)
- ★ 3位 **54** 冊 (大学2年生・短大1年生 同率2名)

現在の自分の貸出数の調べ方 (2通り)

- MyCARIN
図書館HP→MyCARINにログイン→貸出履歴→表示件数をAllに
- 図書館員に聞く
学生証を持ってカウンターへ